令和６年度 シラバス

愛媛県宇和島東高等学校津島分校

教科	国語	科目	論理国語	単位数	2	学年	3	類型	ビジネスコース
教科書	新 論理国語			副教材	新 論理国語 学習課題ノート				

学期	月	単元名	指導項目、内容		重視する評価の観点 知	思	主
１学期	4	７　具体と抽象の関係を理解するために	人類による環境への影響	文章の信頼性と妥当性を吟味し内容を解釈させる	◎	○	
				〃	○	◎	
				〃		○	◎
	5		この十年をどう生きるか	多様な論点を結びつけながら具体と抽象の関係を理解させる	◎	○	
				〃	○	◎	
				中間考査	◎	◎	
		８　批評するために	〈自動車〉と〈映像〉の二十世紀	筆者の主張について多角的な視点から批評させる。	◎	○	
				〃	○	◎	
	6			〃		○	◎
			言語ゲームと哲学的感度	資料に対する筆者の主張に対して自分の考えを持たせる。	◎	○	
				〃	○	◎	
				期末考査	◎	◎	
	7	７　具体と抽象の関係を理解するために	説得力のある文章を書く	自分の論と想定される反論を多面的・多角的な視点から考えさせる。	◎	○	
				〃	○	◎	
				〃		○	◎
２学期	8	９　情報を関連づけ自分の解釈を形成するために	学びと何か	筆者の主張と論拠となる事例の関係に注意して読ませる。	◎	○	
	9			〃	○	◎	
			「知る」ということ	論理の展開にそって筆者の思考法とその主張を読み取らせる。	◎	○	
				〃	○	◎	
				〃		○	◎
	10			中間考査	◎	◎	
		１０　解釈を広げたり深めたりするために	科学には限界があるか	抽象的な事柄について筆者がどのように論を構成、展開しているかを捉えさせる。	◎	○	
				〃	○	◎	
				〃	○	◎	
				〃		○	◎
	11		未来のありか	具体から抽象が形成される過程を読ませる。	◎	○	
				〃	○	◎	
				〃		○	◎
				期末考査	◎	◎	
	12	８　批評するために	報告文を書く	自分の主張が的確に伝わる文章になるように工夫させる。	◎	○	
				〃	○	◎	
				〃		○	◎
３学期	1	１０　解釈を広げたり深めたりするために	リスク社会論	筆者の主張を批判的に捉え直し、自分の考えを深めさせる。	◎	○	
				〃	○	◎	
				〃		○	◎
				学年末考査	◎	◎	
	2			家庭学習			
				〃			
				〃			
				〃			
	3						

学習のねらい・学習の目標・評価の観点

学習のねらい

　１学期は、「環境」をテーマとした文章を読み、多様な観点で何が語られているのかを知ることで自分の考えを相対化していきます。
　２学期は、「文化・芸術」をテーマとした文章を読み、自分たちを取り巻く文化や日常の中で目にする芸術に目を向け、ふだんあまり意識しな「現実」や「前提を見つめ直し、自分たちの思考の様式に対する考察を深めます。また、「知のあり方」をテーマにした文章を読むことで、多様な資料と自分の考えとを相互に関連づけ、新たな視点から自分の考えを見つめ直します。
　３学期は、「認識と実践」をテーマとした文章を読み、自分の思想を新たな視点でとらえ直し、これからの社会に生きる自分自身のもの見方や考え方を考えます。

学習の目標

　実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにします。論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることを目指します。

評価の観点

知識・技能

　実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

思考・判断・表現

　論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

主体的に学習に取り組む態度

　言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。

備考

※評価の観点　知：知識・技能　　思：思考・判断・表現　　主：主体的に学習に取り組む態度

◆学習方法のポイント

【「論理国語」の目標】
○　漢字力をつけよう。
・月に2回全校一斉の漢字テストがあります。毎回１００点をとるつもりで頑張りましょう。
・希望者を募り、年3回漢字検定を実施しています。２年までに3級以上合格を目標に挑戦しましょう。
○　読解力をつけよう。
・教科書の文章を、じっくり読み味わいましょう。
・いろいろなジャンルの本(評論文)を読み、ものの見方・考え方を広げましょう。
○　表現力をつけよう。
・作文やスピーチに取り組むことによって、自分の考えや意見を人に伝えましょう。

【授業】
○　週に2時間の授業があります。
○　１つの単元の授業の流れは、次のようになります。
①　教科書を読みます。
②　出てくる漢字や難語句について、辞書を用いて調べ確認します。
③　本文を読解します。
④　学習課題ノートを用いて内容を確認します。
○　ノートは、板書に加えて口頭で示された重要ポイントも記し、工夫された「自分のノート」を作りましょう。
○　できれば国語辞典を用意し、わからない語句はその都度調べましょう。
○　思考力、判断力や表現力を養うための発展学習を行います。主体的に取り組みましょう。

【家庭学習】
○　漢字は毎日欠かさず練習しましょう。
○　本を読んだり新聞に目を通したりして、見聞を広げましょう。

【定期考査】
○　教科書をじっくり読み返し、ノートや学習課題ノート、プリント類を見直しましょう。
○　特に漢字は正確に書くことを心掛けましょう。
○　教材から学んだことや得た知識、考えたことなどをまとめておきましょう。

【その他】
○　将来進路に関わって、小論文が必要になる人も多いと思います。気になった新聞記事を貼ったり、気に入った文章などを書き留めたりするノートを一冊用意すると良いでしょう。

◆評価の方法、規準

評価の方法	定期考査、授業への出席状況および学習意欲、課題提出とその内容、ノートの整理状況を 知識・技能　思考・判断・表現　主体的に学習に取り組む態度の三つの観点 から評価します。	
評価の規準	１学期	中間考査、期末考査（全ての観点から評価しますが、主に知識・技能　思考・判断・表現を重視します） 出席状況及び学習意欲（主に主体的に学習に取り組む態度の観点から評価します。） ノートの整理状況（主に知識・技能　思考・判断・表現の観点から評価します。） 課題提出状況等
	２学期	中間考査、期末考査（全ての観点から評価しますが、主に知識・技能　思考・判断・表現を重視します） 出席状況及び学習意欲（主に主体的に学習に取り組む態度の観点から評価します。） ノートの整理状況（主に知識・技能　思考・判断・表現の観点から評価します。） 課題提出状況等
	３学期	学年末考査（全ての観点から評価しますが、主に知識・技能　思考・判断・表現を重視します） 出席状況及び学習意欲（主に主体的に学習に取り組む態度の観点から評価します。） ノートの整理状況（主に知識・技能　思考・判断・表現の観点から評価します。） 課題提出状況等
	学年	1学期の成績、2学期の成績、3学期の成績を総合的に評価